

【オリコンサルグローバルらで設計進む 日本初アトランティックサーモン陸上養殖場】



完成イメージ

オリコンサルグローバルらで設計進む

日本初アトランティックサーモン陸上養殖場

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、トルコのコンサルタント会社ユクセル・プロジェクトを代表とする2社と

のコンソーシアムにより、日本初となるアトランティックサーモンの陸上養殖施設の設計を進めている。

アトランティックサーモンの陸上養殖事業を展開するピュアサーモングループ（本社・UAEアブダビ）の日本人ソウルオブジャパン（東京都渋谷区、エロル・エメド代表取締役）が津市のニューファクトリーひさい工業団地内に建設するもので、2021年内に施設建設に着手し、22年にはふ化施設と稚魚養殖場の稼働を開始、23年冬の初出荷を目指す。

施設は、同工業団地内の敷地約13万7000平方メートルに建設する。閉鎖循環式陸上養殖（RAS）技術による持続可能な養殖システムを導入し、

年間1万トンの生産能力を備える計画だ。

ピュアサーモングループは18年にポーランドに保有する閉鎖循環式陸上養殖場で商品として販売できるアトランティックサーモンの飼育に成功している。同養殖場では海水ではなく人工海水を使って飼育しており、海水からの病気浸入リスクを減少。また高度なろ過技術によって飼育水を循環利用することで環境負荷も低減しており、日本の新設工場にも同様の技術を活用することで国産の安全で鮮度の良いアトランティックサーモンを安定供給する。

ピュアサーモングループでは日本と同時に、仏・米・中国・中東などでもRAS事業を展開していく。